

スイヨウマルチプライマーグレー

「スイヨウマルチプライマーグレー」は、溶融亜鉛めっきに対しすぐれた付着性を持ち、自信を持ってお勧めできる塗料です。しかも、環境にやさしい水性塗料で大変使いやすいものとなっています。

■ 系統

特殊ビニル樹脂塗料

■ 特長

- ①溶融亜鉛めっきや、各種素材への付着性がすぐれている
- ②安全・無公害な塗料
- ③速乾性・作業性にすぐれている

■ 用途

屋内外における溶融亜鉛めっき他各種金属の下塗り

■ 色

グレー

■ 容量

16 k g ・ 4 k g

■ 標準塗付量

エアレス塗り 0.17 k g / m²
はけ塗り 0.14 k g / m²

■ 塗料性状

消防法危険物区分	非危険物
有機溶剤中毒予防規則区分	表示なし
労働安全衛生法有害物表示	エチレングリコール モノブチルエーテル
毒物及び劇物取締法による表示	非該当
ホルムアルデヒド放散量	F☆☆☆☆
トルエン・キシレン	不含有
密度 (g / c m ³ / 23℃)	1.40
加熱残分 (%)	60.0

■ 乾燥時間

	10℃	20℃	30℃
指触乾燥(分)	40	20	15
半硬化乾燥(分)	60	30	20
塗装間隔 最短	3 時間	2 時間	1 時間
最長	6 ヶ月	6 ヶ月	6 ヶ月

■ 試験成績表

項目	試験条件	結果	
付着性試験 (クロスカット法)	格子のパターンは 2mm 間隔, 升目の数は 25 で 分類 1 以下	0	
耐湿試験	50℃・95%RH 720 時間	塗膜状態	異常なし
		二次密着	異常なし
塩水噴霧試験	35℃・5%食塩水噴霧 720 時間	塗膜状態	カット部に僅かに膨れ
		二次密着	異常なし
複合サイクル	40℃塩水噴霧×2 時間→60℃乾燥×1 時間→ 50℃湿潤×2 時間→60℃乾燥×1 時間 を 1 サイクルとして 100 サイクル	塗膜状態	異常なし
		二次密着	異常なし
沖縄暴露	2 年間	塗膜状態	異常なし
		二次密着	異常なし

試験板: 溶融亜鉛めっき鋼板 下塗り: スイヨウマルチプライマー 上塗り: ウレオール600

■ 旧塗膜との付着性

旧塗膜	付着性
合成樹脂調合ペイント	◎
アルキド樹脂塗料	◎
塩化ゴム樹脂塗料	◎
塩化ビニル樹脂塗料	◎
エポキシ樹脂塗料	◎
ウレタン樹脂塗料	◎
アクリルエマルション塗料	◎

■ 各種素材との付着性

素材	付着性
鋼板	◎ 注1
黒皮鋼板	◎
鋳鉄	◎ 注1
溶融亜鉛めっき	◎ 注2

注1 フラッシュラストが発生する場合がありますが性能上は問題ありません。

注2 非塗装用クロメート処理された鋼板への塗装は避けてください。

■ 使用できる上塗り塗料

合成樹脂調合ペイント・アルキド樹脂塗料・
塩化ゴム樹脂塗料・エポキシ樹脂塗料・
ポリウレタン樹脂塗料・アクリルシリコン樹脂塗料・
ふっ素樹脂塗料・アクリルエマルション塗料
* * 焼付け塗料は使用できません



■ 標準塗装仕様書

工程		塗料名 (希釈剤)	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/㎡)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	鉄部の場合	錆・油分・水分・ほこりなどの異物を除去し、清浄な面にする。				
		溶融亜鉛めっき部の場合	油分・水分・ほこりなどの異物を除去し、清浄な面にする。白錆は、ワイヤーブラシ・パワーブラシ・ディスクサンダーなどを用い完全に除去する。				
		アルミニウム・ステンレス部の場合	錆・油分・水分・ほこりなどの異物を除去し、清浄な面にする。 新設塗装の場合は、表面を軽く研磨すること。				
2	下塗り	スィヨウマルチ プライマーグレー (水道水)	はけ エアレス	0～5	0.14 0.17	30	夏場 1 冬場 3
3	上塗り	ウレオール600 主剤 9:硬化剤 1 ポットライフ 8 時間 (ウレオールシンナー)	はけ エアレス	20～30 30～40	0.12 0.15	25	6 以上 15 日以内

■ 長期防食塗装仕様書

工程		塗料名 (希釈剤)	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/㎡)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	鉄部の場合	錆・油分・水分・ほこりなどの異物を除去し、清浄な面にする。				
		溶融亜鉛めっき部の場合	油分・水分・ほこりなどの異物を除去し、清浄な面にする。白錆は、ワイヤーブラシ・パワーブラシ・ディスクサンダー等を用い完全に除去する。				
		アルミニウム・ステンレス部の場合	錆・油分・水分・ほこりなどの異物を除去し、清浄な面にする。 新設塗装の場合は、表面を軽く研磨すること。				
2	下塗り	スィヨウマルチ プライマーグレー (水道水)	はけ エアレス	0～5	0.14 0.17	30	夏場 1 冬場 3
3	中塗り	エトン2300NB 主剤 85:硬化剤 15 ポットライフ 10 時間 (エトン 2300F シンナー)	はけ エアレス	10～15 20～30	0.27 0.30	80	24 以上 15 日以内
4	上塗り	ウレオール600 主剤 9:硬化剤 1 ポットライフ 8 時間 (ウレオールシンナー)	はけ エアレス	20～30 30～40	0.12 0.15	25	6 以上 15 日以内

塗り替えの場合の素地調整 浮き膜、劣化塗膜および錆は、パワーブラシ・ディスクサンダーなどを用いて完全に除去した後、シンナー拭きまたは水洗いで洗浄してください。旧塗膜に粉化物が付着している場合(チョーキング)は、高圧水洗や水洗いで粉を除去してください。水洗いした後は、ウエス拭き・エアブローなどで表面を乾燥させてください。

取扱い及び保管上の注意

密閉された場所での作業は、十分な局所排気装置をつけ適切な保護具を着用して行ってください。取扱い後は、手洗い及びうがいを行ってください。よくフタをし、40℃以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。塗装缶はよく振った後、開缶し水道水を加え充分に攪拌してご使用ください。塗装終了後は直ちに用具を水で洗浄してください。容器は中身を使い切ってから破棄してください。缶の持ち運びの際には、手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げる様に取り扱ってください。容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので保護手袋などを使用してください。本来の用途以外には使用しないでください。水性塗料ですので冬季凍結しないよう5℃以上で保管してください。使用残りの塗料は水分が蒸発しないよう密封して涼しい場所で保管してください。外気温度5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。降雨や結露で表面がぬれている場合は、乾燥するまで塗装は避けてください。また、塗装後数時間以内に降雨や結露のおそれがある場合も塗装を避けてください。

緊急時及び応急処置

容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後に処理してください。また、容器などに付着した塗料はウエスなどで拭き取り、破棄してください。水での洗浄は、河川などへ排出されると環境汚染を引き起こす恐れがありますので注意してください。皮膚に付着した場合は、ただちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みや外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。目に入った場合は、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

廃棄上の注意

廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器などの廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの定めに基づいた処理業者に委託してください。

詳細な内容が必要なときは、安全データシート(SDS)をご覧ください。

川上塗料株式会社

本社 〒661-0001 尼崎市塚口本町二丁目41番1号 06-6421-6325(代)

営業所 仙台・北日本・東京・浜松・金沢・名古屋・大阪・広島・九州

ホームページアドレス <http://www.kawakami-paint.co.jp>